

会 議 名	第3回港区放課GO→クラブこうがい運営事業候補者選考委員会
開 催 日 時	令和4年10月17日（月曜日）午後2時00分から午後3時50分まで
開 催 場 所	麻布地区総合支所 第1会議室
委 員	出席者 6名 岡田委員長、富田副委員長、安梅委員、請川委員、白井委員、山崎委員
事 務 局	麻布地区総合支所管理課長 櫻庭 靖之、施設運営担当係長 駒井 担当 宇野、本多、今本
傍 聴 者	なし
会 議 次 第	1 開会 2 議題審議 議題1 第二次審査について 議題2 運営事業候補者の決定について 3 閉会
配 付 資 料	[卓上配布] 資料1 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）方法について 資料2 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）採点表 資料3 第一次審査・第二次審査採点集計表 資料4 第2回港区放課GO→クラブこうがい運営事業候補者選考委員会 会議録 事業者A プレゼンテーション資料 事業者B プレゼンテーション資料 参考資料 第一次審査（書類審査）集計表
会議の結果及び主要な発言	
事務局	1 開会 (事務局より本日のスケジュールについて説明)
事務局	2 議題審議 議題1 第二次審査について (事業者Aによるプレゼンテーション実施)
委員長	それでは、ヒアリングに入ります。

A委員	事業提案にあたり、港区の中でも、特に筈地域の特徴をどのように捉えていますか。考慮している点がありましたら、教えてください。
事業者A	外国籍の方が多いので、子どもたちの特徴や特性を活かした育成をしていきたいと思います。
B委員	子どもたちが主体的に新型コロナウイルス感染症対策に取り組む工夫はどのようなことをしていますか。
事業者A	高学年を中心として責任感を育むような活動や、衛生管理をしながら行える活動を実施していきたいと思います。子どもたちの得意なものを引き出せるようなイベントを、指導者間で案を出し合って実践していきたいです。
C委員	本部の支援体制についてお伺いします。新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等で急に職員が休む場合、どのように対応されますか。
事業者A	急な欠員に対しては、他自治体の施設や本部職員からの応援態勢を設けています。
C委員	活動している中で、職員のミスが起こることがあると思います。そのミスを受けたとき、本部はどのような対応をしますか。
事業者A	まずは、どのようなミスかの確に判断します。常日頃から、報告、連絡、相談は本部にする体制を整えています。ミスが起こった場合は、本部が早急に施設に行き、どのようなミスなのか分析し、港区にも報告をし、再発防止に繋げていきたいと思っています。
C委員	安全対策についてお伺いします。主に低学年で、未登室や放課GO→クラブに関係のない児童が来てしまうことがあります。そのような事態に対応できる体制になっていますか。
事業者A	未登室の場合は、必ず保護者に連絡し、確認をします。場合によっては、学校にも登室状況を報告、共有します。その後、必要に応じた対策を取ります。児童が安心・安全に登室できる環境を整えていきます。
C委員	最後の質問です。学校内の施設なので、小学校との連携が非常に大事になります。そのことについて、職員にはどのように話をしますか。
事業者A	学校内の施設で運営をしていること、使って良い物、使ってはいけない場所等を職員ミーティングで常に共有します。そして、子どもたちに対しても、どこまでが学校の範囲であるかということと、放課GO→クラブに来た時のルールを説明します。

D委員	施設長候補者にお伺いします。令和4年4月より港区内で施設長の経験があるとのことですが、他の自治体と比較して、港区で施設長をしてよかったこと、戸惑いや違いを感じたことはありますか。
事業者A	まだ港区での経験は半年ほどですが、地域性による家庭環境の違いを感じています。自然が少ない中でも、子どもたちがのびのびと公園等で遊んでいる姿が見られることや、保護者のお迎えが比較的多いことなど、港区に来てよかったと実感できます。
D委員	現在施設長として勤務していて、常勤職員と非常勤職員の複数職員をまとめていく上で、心がけていることを教えてください。
事業者A	職員それぞれ思うことや考えることが違います。施設長として職員に心掛けてほしいと声掛けをしているのが、全員で同じ方向を向いて、子どもたちを安全に守って育成をして欲しいということです。常日頃そういう風に思う中で、自分も気を付けながら、職員たちと密な対話をし、施設を守っていきたいと考えています。
D委員	法人の方にお伺いします。先ほど新型コロナウイルス感染症等による欠員時は本部や他自治体から応援体制があると伺いましたが、具体的に対応した事例があれば教えてください。
事業者A	まず、感染症になった場合は、毎日必ず本部に報告を上げてもらいます。エクセルシート上で、各自治体の児童、職員及び職員家族の感染状況を記録しています。合わせて、各エリアのシフトの状況も一つのシートで管理していますので、欠員が出た際に、どこの施設に余剰があるのか、すぐに確認ができます。エリアを跨いで担当者同士で連絡を取り、急な応援要請にも対応しています。本部から応援を出す場合もあります。
D委員	具体的に、今までで何人ぐらいの規模の応援を出したというような実績を教えてください。
事業者A	一番大きな規模だと、他自治体で、新型コロナウイルス感染症の第3波のころに、施設長副施設長ともに罹患し、他の職員も濃厚接触者になってしまったことがありました。自治体の判断により、職員全員が一時的に出勤停止となってしまったため、急遽15名ほどを翌日から一週間確保した実績があります。職員の感染が一番多かったのは、今年の8月前半でしたが、夏休み中で子どもたちの登室人数が少なかったため、乗り切ることができました。
D委員	最後の質問です。ソリューション本部にはソリューションプランナーとエリア統括マネージャーがいるということですが、役割分担はどうなっているのでしょうか。行政の窓口は誰になりますか。

事業者A	ソリューションプランナーは、基本的には契約、経理、会計等を担当しています。エリア統括マネージャーは、現場での施設長経験のある専門性の高い職員を配置しているので、施設長のフォローや指導員の育成、児童の育成のフォロー等を担当しています。エリア統括マネージャーは、施設長経験者であることが重要で、指導員だけでなく、保護者対応についても、経験をもとに施設長にアドバイスをしています。
E委員	保護者対応について、提案書には子どもの様子や体調に関すること、些細なことでも電話や連絡帳、参加カード等を活用して丁寧に対応しますと記載されていますが、具体的な対応事例がありましたら、教えてください。
事業者A	子どもの体調不良での連絡が一番多いと思います。急に発症することが多いので、まずは保護者の方に連絡をします。就労している家庭なので、電話をかけ続けても、連絡がとれないことが多く、その場合は連絡帳や参加カードに記載をしたりします。早めに対応が必要な場合は、港区に対応を相談しています。
E委員	地域との交流や連携で、先ほど夏祭りという話がありましたが、具体的にどのような工夫をして、地域の方を取り込んでイベントされているのか教えてください。
事業者A	夏祭りでは、新型コロナウイルス感染症のため、大々的に地域の方の協力を依頼することはできなかったのですが、地域で様々なイベントを経験しているサポーターの皆様に協力していただき、色々な案を出していただきました。
E委員	本部の方にお伺いします。施設長は、年に一回キャリア面談を実施していると思いますが、それをどのように情報収集して、どのように現場に返しているのでしょうか。
事業者A	職員自身で採点をした考課シートをもとに、エリア統括マネージャーと面談をしています。
E委員	面談によって、具体的に改善された事例等があれば教えてください。
事業者A	施設長から職員への情報共有ができていなかったことや、指導員の育成計画についてアドバイスをしました。
F委員	提案資料の職員配置について、常勤職員が少なく、非常勤職員での運営を想定している印象を受けました。施設長候補者の方は、今まで非常勤職員の多い職場での勤務経験はありますか。
事業者A	本部より説明させていただきます。1日あたり10名出勤のうち、3名が

	<p>常勤職員と想定しています。3名のうち1名が施設長、2名が副施設長です。7名の非常勤職員は、午後からの出勤を想定しております。できる限り週3～4日で継続的に出勤できる職員を確保していく予定です。</p>
委員長	<p>それでは、時間となりましたので、プレゼンテーション及びヒアリングを終了いたします。 (事業者A退席)</p> <p>(事業者Bによるプレゼンテーション実施)</p>
委員長	<p>それでは、これからヒアリングに入ります。</p>
A委員	<p>多くの自治体で放課後施設の運営をされているようですが、港区の中でも、特に筈地域の特徴をどのように捉えていますか。考慮している点がありましたら、教えてください。</p>
事業者B	<p>筈地域は、外国籍の児童や、帰国子女の児童が多いと認識しています。運営している同種の施設においては、中国籍の児童が多いことから、中国語を話すことができる職員を2名配置して対応した実績があります。プレゼンテーションでも話をしたとおり、人材の豊富さを活用して、地域の特徴を捉えた運営ができると考えています。</p>
A委員	<p>二交代制での勤務ということですが、長期休業日以外も二交代制でしょうか。</p>
事業者B	<p>長期休業日以外の日は、一人の職員が最初から最後まで勤務する体制で考えています。</p>
A委員	<p>二交代制のメリットとデメリットを教えてください。</p>
事業者B	<p>交代の際に引継ぎ時間を30分程度設けて、漏れがないようにしていますので、デメリットはほぼないと考えています。メリットは、職員が休憩時間をしっかりと確保できること、結果として、働きやすい職場環境の実現、就業継続率の向上、コンプライアンスの遵守に繋がることであると考えています。</p>
B委員	<p>施設長候補者の方から、熱い思いを感じました。 子どもたちが主体的に新型コロナウイルス感染症対策に取り組めるような工夫を教えてください。</p>
事業者B	<p>夏休みに子どもたちからスタッフを募集して、3年ぶりの夏祭りを開催しました。やりたいという主体性を伸ばしつつも、感染症対策もしながら、少人数のグループに分けてミーティングを複数回行い、実現することができま</p>

	<p>した。新型コロナウイルス感染症対策としては、毎日、登室時に実施している検温と手洗いについて、最初は指導員が声を掛けていましたが、今では子どもたち同士で声を掛け合って衛生面の対策に取り組めるようになりました。また、おやつ時間に人数を制限して飲食をしているのですが、子どもたちが自分の帰る時間を把握して、どの部屋で何時に食べたらいいかを考えられるようになりました。</p>
C委員	<p>施設長候補者にお伺いします。筈小学校の教育目標は知っていますか。</p>
事業者B	<p>申し訳ありません。分かりません。</p>
C委員	<p>「気づき考え進んでおこなう筈の子ども」です。 もう1点お伺いします。子どもが帰ってこないと連絡があった場合、どのように対応しますか。</p>
事業者B	<p>未登室の児童がいた場合は、保護者にすぐ連絡をし、お休みの連絡を忘れていたのか、学童クラブに来るはずなのに帰ってしまったのか、速やかに把握します。学童クラブに来るはずの児童であれば、すぐに私が探しに出ます。</p>
C委員	<p>1人で全てできますか。</p>
事業者B	<p>施設に残っている児童の安全管理も大切なので、未登室の児童が1名であれば、自宅までの通学路を点検しながら、施設と連絡を取り合い、私が1人で対応します。</p>
C委員	<p>組織的な役割分担やマニュアルはないでしょうか。</p>
事業者B	<p>施設長が探しに出て、副施設長が本部への連絡をし、常勤の職員が保護者への連絡をするという役割分担で対応します。</p>
C委員	<p>学校と地域との関係についてお伺いします。情報交換以外に、具体的にどのような連携を考えていますか。</p>
事業者B	<p>現施設では、新しい小学校のため地域との繋がりが難しいところがありますが、放課GO→クラブこうがいを運営することになったら、PTAの方にお力添えを頂きながら、地域の町会の方へお目通しをしていただき、イベントのお手伝い等を通じて、いち早く地域に馴染めるような関係づくりをしていきたいと考えています。</p>
C委員	<p>自分たちから積極的に関わっていく予定ということでしょうか。</p>
事業者B	<p>はい。</p>

D委員	施設長候補者にお伺いします。「安全確保」と「おやつの提供」と「障害のある児童への対応」の3点に絞ってご説明いただきましたが、この3点を選んだ理由を教えてください。
事業者B	児童と保護者の安全と安心を一番に考えたときに、「安全確保」と「おやつの提供」が重要だと考えました。さらに、今は発達障害の児童が多くいて、現場でも対応に苦慮しているところなので「障害のある児童への対応」を3点目に選びました。
D委員	今までの施設長経験の中で、就業形態や年齢、キャリア等が異なる職員をまとめていくために心掛けていることを教えてください。
事業者B	私はとにかく自分が一番楽しく、一番明るく振る舞うことで、年齢関係なく、みんなが仲間であるという雰囲気を作り上げていくことを心掛けています。
D委員	本部の方にお伺いします。新型コロナウイルス感染症で、職員が出勤停止になってしまった場合に、どのように対応をするのか、具体的な事例があれば教えてください。
事業者B	本人からの申告が本部に上がってきた段階で、まずは本部にいる有資格者をピンチヒッターとして配置します。自治体への報告は、メールや所定の報告様式で速やかに行います。今まで、急に配置ができなかったという事例はありませんでした。
E委員	施設長候補者にお伺いします。児童の安全の確保について、事態終了後の対応として、事例の蓄積による改善策の立案等を実施すると記載がありますが、具体的に改善策を教えてください。
事業者B	先ほどの質問にもありましたが、児童の未登室が度々あります。その度に、どうして未登室になってしまったか、児童本人や保護者様へ細かく聞き取りを行います。その事例を学童クラブの児童や職員全員に共有し、鍵がなくて困った時や登室日が分からなくなった時の対応方法等を伝えています。
E委員	本部の方にお伺いします。地域との連携ということで、スポーツや集団遊びプログラムを実施すると記載がありますが、現時点で考えている具体的なプログラム等がありましたら、教えてください。
事業者B	当社は、事業部制で運営をしているのですが、特にスポーツ系の事業部では元プロの選手が登録されている関係もあり、例えばサッカー教室のイベントの実施などを考えています。また、放課GO→クラブでは、低学年の児童が多いと思うので、英語を使った体操教室なども考えています。当社ではト

	<p>ータルで300を超えるプログラムと、それぞれの展開マニュアルを完備しています。保護者と児童にアンケート調査等で希望を伺って、実施していきたいと考えています。</p>
E委員	<p>施設の特徴として、多言語対応が必要ということがあると思いますが、児童及び保護者への配慮で何か心がけていることや経験があれば教えてください。</p>
事業者B	<p>外国籍の児童には、文化の違いへの対応も必要だと思います。例えば、おやつで食べられないものがある場合は、事前に保護者と協議をしています。おやつは児童にとって一番の楽しみなので、みんなと違うことを恥ずかしいと思うこともあります。そのため、児童によっては、食べる場所に配慮を行う等ルールを設定し、対応しています。</p>
F委員	<p>外国籍の児童が多いということ以外に、箕地域の地域性を捉えて、対応していこうと考えていることはありますか。</p>
事業者B	<p>最近是要配慮の児童が増えていると感じています。スーパーバイザーを含めて毎週相談ができる体制を整えていますので、必要に応じて積極的に対応させていただきたいと考えています。また、保護者への支援についても、必要に応じて、自治体や関係機関と連携をして対応していきたいと考えています。</p>
F委員	<p>施設長候補者にお伺いします。障害のある児童への対応について、公平性ということで、配慮を要する児童それぞれの状況に応じて適切な対応を行うと記載がありました。適切な対応というのは難しい部分もあるかと思いますが、具体的に教えてください。</p>
事業者B	<p>まさに今日の午前中も、学校の授業中にずっといられないと、学童クラブの一年生の児童が、先生とやってきました。このような場合は、学校のスタンスと保護者の気持ちをお伺いし、対応をします。この児童の保護者は、ストレスなく学校と学童に行ってくれればよいという考えでしたので、学校とも連携をしながら、3時間目はすごく頑張ったから、4時間目は学童の部屋で過ごそうねということで、学童でお預かりをしました。</p>
委員長	<p>それでは時間となりましたので、事業者によるプレゼンテーション及びヒアリングを終了いたします。</p>
事務局	<p>議題2 運営事業候補者の決定について 第二次審査結果の説明 事業者Aは、1,836点満点中1,299点で、加点項目分を除く得点率は71.5%という結果です。 事業者Bは、1,836点満点中1,211点で、加点項目分を除く得点</p>

委員長	<p>率は66.9%という結果です。</p> <p>それではこの点数を受けまして、各委員の皆様からご講評をお願いし、内容を審議いたします。</p>
A委員	<p>一次審査の時は事業者Aを高く評価していましたが、二次審査では事業者Bが高くなりました。施設長候補者の元気で明るいところが、小学生を預かる施設に適任であると思ひ、施設長候補者の考え方・能力等について事業者Aよりも高く評価しました。また、事業者Bは二交代制の勤務を提案しており、デメリットはないと断言していました。子どもの施設は、長時間労働で離職に繋がることもあるため、働き方を考えている点で、施設運営の姿勢・考え方について高く評価しています。</p>
B委員	<p>私も二次審査は事業者Bを高く評価しました。事業者Bは、施設長候補者の熱量が感じられ、サポートする本部の方も明るくしっかりしている印象を受けました。事業者Aは、声が小さく聞き取りにくく、対応がやや不十分な部分も見受けられました。</p>
C委員	<p>施設長候補者については、事業者Bの方が明るく、能力が高そうに感じましたが、何でも一人で頑張るという考えが少し気になりました。未登室の児童への対応についても、施設長なので、一人で探すのではなく、組織的な対応を考えてほしいと感じました。結果として、施設長候補者については、同じ点数を付けています。</p> <p>プログラムについては、事業者Bは多彩なプログラムが魅力的ですが、事業者Aは夏祭りなど地域に根差した具体的なプログラムが提案されていません。結局、大きな差はつきませんでした。</p>
D委員	<p>施設長候補者は、事業者Bの方が子どもの施設には向いている印象を受けました。それ以外の項目については、事業者Aは施設と本部が一体となって事業運営に取り組んでいる印象を受け、ソリューションプランナーとエリア統括マネージャーの配置など本部の支援体制を評価しています。新型コロナウイルス感染症の欠員対応でも、具体的な対応実績を示せていました。</p> <p>一方で、事業者Bは、人材が豊富であると言っているものの、具体的な事例等を示せていなかったのも、非常に残念でした。</p>
E委員	<p>どちらかという事業者Aの方が地域に密着した提案がされていたと感じました。確かに事業者Bの方が、施設長候補者の熱意を感じました。事業者Aの施設長候補者は、少し緊張されている印象を受けましたが、経験豊富で適任であると思ひました。</p> <p>施設運営の姿勢・考え方については、事業者Bは、筈小学校の教育目標を答えられなかったことが非常に残念で、学校との連携の部分で厳しい印象を受けました。地域との連携は、事業者Aの方が具体的な内容だったので、評価を高くしました。やはり、地域の密着性や学校との連携の部分で、やや事</p>

F 委員	<p>業者Aの方が良いと思いました。</p> <p>私は、施設長候補者について、事業者Aを高く評価しました。確かに、ヒアリングでは少し不安な印象を受けましたが、プレゼンテーションはしっかりできていました。一方、事業者Bは、先ほど指摘がありましたとおり、少し突っ走ってしまいそうな印象を受け、とても不安を感じました。プレゼンテーションで、3つの視点について、もう少し詳しく話をしてほしかったのですが、なんとなく資料を読み終えただけで終わってしまい残念でした。</p> <p>その他の項目については、事業者Aは筭小学校と地域を理解した上で、具体的な事業提案がされていたこと、本部と施設長候補者のチームワークが取れていると感じられたことから評価を高くしました。事業者Bは筭小学校や地域を理解してまとめられていたわけではなく、どこの小学校でも当てはまる無難な提案となっていたので、点数に差を付けました。</p>
委員長	各委員からの意見を受けて、点数の変更はございますか。
全委員	(特になし)
F 委員長	<p>それでは、第一次審査・第二次審査合計点数を発表します。</p> <p>事業者A 合計点数 1,299点 得点率71.5%(加点項目分除く)</p> <p>事業者B 合計点数 1,211点 得点率66.9%(加点項目分除く)</p> <p>よって、港区放課GO→クラブこうがい運営事業候補者は事業者Aでよろしいでしょうか。</p>
全委員	了承
委員長	<p>それでは、当委員会として、港区放課GO→クラブこうがい運営事業候補者は事業者Aに決定いたします。</p> <p>事務局は、決定した運営事業候補者を発表してください。</p>
事務局	<p>港区放課GO→クラブこうがい運営事業候補者として決定した事業者Aにつきましては、株式会社パソナフォスターでございます。</p> <p>3 閉会</p>